

平成30年度小牧市農政推進協議会会議録

- 1 開催日時 平成31年2月15日（金）  
午前10時30分～午前11時00分
- 2 開催場所 尾張中央農業協同組合本店 3階 大会議室
- 3 出席者  
【委員】  
長谷川委員（会長）  
川橋委員 亀谷委員 堀尾委員 熊澤委員  
野村氏（浅野委員の代理） 水谷氏（岩田委員の代理）  
  
【事務局】  
小牧市地域活性化営業部農政課 余語課長 余語係長  
川本主査  
尾張中央農業協同組合 稲垣常務  
農業振興部 山田部長  
営農生活部 友松部長  
営農企画課 松山課長  
営農指導課 毛利課長  
営農生活課 竹中課長  
東部営農生活センター 中山センター長  
西部営農生活センター 森藤センター長  
営農企画課 夏目課長代理  
青山係長
- 4 欠席者  
小林委員（副会長）
- 5 配布資料  
・次第  
・議題資料
- 6 傍聴者  
なし

## 7 会議内容

議題(1)平成30年度事業報告について

議題(2)平成31年度事業計画(案)について

その他

## 8 議事の内容

### 【司 会】

本日はお忙しい中、平成30年度小牧市農政推進協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

それでは、最初に会長から、挨拶を申し上げます。

### 【会 長】

今日は平成30年度小牧市農政推進協議会ということで、平成30年度の事業報告と平成31年度事業計画(案)について議題として審議することとなっております。会議が円滑に進むよう皆様のご協力をいただきますようお願いいたします。

### 【司 会】

ありがとうございます。

それでは議事に移らせていただきます。小牧市農政推進協議会条例第5条第2項で会長が「会務を総理し」となっておりますので、会議のとりまわしを会長にお願いします。

### 【会 長】

委員8名に対しまして、出席者7名で過半数の委員にご出席いただいておりますので、総会は成立します。

議事に先立ち、議事録署名者を指名させていただきたいと存じますが、ご異議はございませんか。

### 【委 員】

異議なし

### 【会 長】

ありがとうございます。それでは、亀谷 一夫委員と熊澤 大委員のご両名

をお願いしたいと思います。

それでは議事に入ります。議題(1)平成30年度事業報告について、事務局より説明を求めます。

### 【事務局】

これより議題(1)平成30年度事業報告について説明します。

議題資料の1ページをご覧ください。

米生産調整推進対策事業ですが、県より示された数値を参考に、平成30年度の小牧市の生産数量目標(目安)は1,499t、使用単収は、10aあたり509kg、作付目標面積(目安)は295haでした。これに対して、小牧市の平成30年度産米の生産数量は2,071t、水稲作付面積は407haでした。平成30年度経営所得安定対策等についてですが、生産数量目標配分対象の農業者は2,030人で、加入者は20人でした。

農業経営基盤強化促進事業ですが、人・農地プランについては、プランの更新を行うため、市内支部長及び認定農業者、農業委員、農地最適化推進委員等を対象に平成30年12月10日に東部地区、19日に西部地区で座談会を開催し、東部地区30名、西部地区19名の方にご参加いただきました。座談会にて意見をいただき、それを基に小牧市人・農地プランの更新案を作成し、今月12日に県・市・JA・農業委員・農業共済等で構成する人・農地プラン検討会を開催して更新案を提示し、承認されました。

農地中間管理事業ですが、市のホームページと人・農地プランの座談会等において周知を行いました。なお、利用権設定を1件2筆で行いました。

利子補給補助事業についてですが、農業近代化資金利子補給補助金は5名の農業者を支援しました。

農業人材力強化総合支援事業補助金ですが、農業次世代人材投資資金(経営開始型)、旧青年就農給付金(経営開始型)ですが、1名の対象者に給付しました。

新規就農講演会ですが、今年度も尾張中央農協の地域担い手協議会と合同で開催し、農業に向き合い、夢に向かって取り組んでいる農業者による講演を2部構成で行いました。

2ページをご覧ください。

開催日は平成31年1月18日、場所はJA尾張中央本店3階大会議室で行い、ブルーベリーファームおかざきの畔柳氏、ふくしまの今を語る人の関氏を講師にお招きしてご講演いただきました。

鳥獣等関係対策事業ですが、市民がスズメバチ等の巣を駆除した際に、費用

の一部を補助する補助金制度を行いました。スズメバチとミツバチの巣の駆除を対象に、これまでの実施件数は44件でした。

ジャンボタニシ駆除については、ジャンボタニシによる被害を減らすために、シルバー人材センターに委託し、6～7月にかけて市西部の水路を中心に、卵落としや成虫の捕殺といった方法で駆除を行いました。

イノシシについては、主に市東部地区でイノシシの目撃情報や農作物の被害の報告が寄せられ、野口、大山、大草、林等で報告されました。平成30年度の報告件数は2月末日現在で29件でした。

捕獲実績は同様に1月末日現在で52頭となっています。市では、イノシシ捕獲用の捕獲檻を東部地区に10基設置しておりましたが、新たにJAより5基の寄贈を受けましたので、順次設置を進めています。現在は東部地区に13基のイノシシ捕獲用の檻が設置されており、残り2基も本日午後に設置を予定しています。捕獲檻の地区の内訳につきましては、大山7基、野口3基、林、池之内、大草各1基です。また、くくり罠につきましても17基設置されています。

ヌートリア・アライグマ等による農作物への被害に対応するため、捕獲用の檻を貸し出ししており、30年度の市の貸し出し件数は1月末日現在で45件、駆除の実績としましては、ヌートリア10頭、アライグマ6頭です。

鳥獣等による農作物等の被害が増加していることを受けまして、平成29年度より新たに「鳥獣被害防止対策協議会」を設置しました。平成30年度第1回の協議会を平成30年7月19日にJA尾張中央東部営農生活センター2階会議室で行いました。

3ページをご覧ください。

鳥獣対策協議会と同日の7月19日午前小牧市温水プール北のふれあいの森にて地元区、JA、猟友会などが参加してドローンの実証実験を行い、サーモグラフィカメラや高性能カメラを搭載したドローンを飛ばして実験したところでした。

また、豚コレラの関係では、岐阜県や県内近隣市での発生を受け、対策として、小牧市豚コレラ防疫対策会議を平成31年1月22日に開催しました。さらに平成31年2月7日には、県内における患畜確認と舟橋養豚についての書面報告を行いました。

農業団体支援事業については、平成30年11月17日、18日に市民会館で農業祭、生活展、環境フェア、消防フェアの4つを合同で行う「いきいきこまき」を開催し、17日の来場者数は約2万人で、18日の来場者数は約2万1千人でした。また、農業祭品評会については、7月9日に桃品評会・即売会を、8月22日にはぶどう・梨・いちじく品評会・即売会を、11月16日に

農業祭品評会を実施しました。出品数は合計で559品でした。

農業農村多面的機能支払事業については、平成29年度から33年度までの5年間の事業期間になり、対象地域は大草、野口、大山、林地区でした。対象面積についてはご覧のとおりでした。

(仮称)農業公園管理事業については、平成30年度は外部の委員を含めた検討委員会を4月24日に行いました。3月に実施した「小牧市農業公園整備基本構想(修正)(案)のパブリックコメント」の意見について協議し、6月に基本構想を策定しました。市広報、ホームページに掲載しています。

また、平成30年6月28日には野口区の役員会で説明を行いました。

食育推進事業については、平成29年度から33年度までの5年間の実施期間となる第3次食育推進計画に基づき、第1回の食育推進会議を平成30年5月22日に開催し、第2回の食育推進会議につきましては、2月22日に開催予定です。

また、食育に関する活動報告会を平成31年1月16日に市役所本庁舎3階302会議室にて開催しました。

料理教室開催協働事業について、これは中部大学応用生物学部食品栄養科学科専攻の学生が考案した「ときめきおしゃれレシピ」を使い料理教室を開催するもので、講師は「小牧市生活改善実行グループ連絡研究会」に依頼して、平成30年9月15日と平成31年1月26日に、いずれも会場は味岡市民センター3階料理教室において開催しました。

協働診断モニター事業として、食物アレルギーに関心のある方等を対象にお話を開催しており、こちらは「アレルギーっ子のつどい クリスマスローズ(こまき食育応援団)」主催で行っています。「話そう♪アレルギーっ子の子育て」ということで、1回目を平成30年11月12日にまなび創造館4階多目的室1・2で開催し、2回目については平成31年2月18日に同じくまなび創造館4階多目的室1・2において開催予定です。

5ページをご覧ください。

農業体験事業については、通年の農業体験講座を実施し、通常講座としては4月～3月に実施しました。30回の講座で17名が参加し、JA尾張中央東部営農生活センターで行いました。グリーンセンターに2名の方が出荷しました。

遊休農地活用事業については、池之内市民菜園で46区画を貸出しています。平成31年1月末日現在、46区画使用です。平成30年6月10日に春の収穫祭、11月23日に秋の収穫祭を青年の家で開催するなど、菜園利用者間でコミュニティが醸成されています。

市民菜園事業としましては、藤島市民菜園で163区画を貸出しています。

平成31年1月末日現在139区画使用しています。

農業委員会については、平成29年7月より新体制となっており、農業委員14名、農地利用最適化推進委員12名で構成されています。

9月から11月にかけて農地最適化推進委員が市内の農地を地区ごとに分担して調査を行う、農地パトロールを行っています。

議題(1)平成30年度事業報告については以上です。ご審議いただきますようお願いいたします。

**【会 長】**

ありがとうございました。

ただいまの事務局の説明について、何かご質問やご意見等がありますか。

**【委 員】**

イノシシ対策だが、犬山と春日井は電気柵の補助があると聞いているが、小牧市では電気柵の補助の予定はあるのか。

**【事務局】**

このあとの平成31年度の事業計画でも示させてもらいますが、東部地区は農作物の被害が多くなっています。イノシシ対策は、現在は檻と罠を中心に行っていますが、電気柵は農地にイノシシを近づけない策として有効と考えます。今はまだ助成制度が無く、補助できない状況ですが、助成制度について国に要望の手続きをしている状況です。

**【会 長】**

補助金の検討を進めるということによろしいか。

**【事務局】**

国への要望の結果がどうなるかわからない段階であり、また、具体的に助成するためには、要綱などの整備もいるため、ここで補助できますとは答えられないが、手続きは進めている状況です。

**【委 員】**

今年度は自分で電気柵を設置したので、かなり出費があった。費用の2割でも3割でも補助してもらえたら助かる。

【会 長】

他に何かご質問やご意見等がありますか。

【委 員】

なし

【会 長】

ご質問等もないようですので、議題(1)平成30年度事業報告については承認ということでご異議ございませんか。

【委 員】

異議なし

【会 長】

ありがとうございます。議題(1)平成30年度事業報告については承認されました。

続きまして、議題(2)平成31年度事業計画(案)について事務局より説明を求めます。

【事務局】

それでは議題資料の6ページをご覧ください。

米生産調整推進対策事業ですが、県より示された数値を参考に、平成31年度の小牧市の生産数量目標(目安)は、1,499t、使用単収は、10aあたり509kg、作付目標面積(目安)は295haです。また、小牧市内の対象水田面積は466haです。これを基に配分率を計算すると63.3%となります。

農業経営基盤強化促進対策事業ですが、人・農地プランについては今年度に引き続き東部地区と西部地区で座談会を実施します。ここでいただいた意見を基に小牧市人・農地プランの修正案を作成します。その後、検討会を開催し、プランの更新を行います。

農地中間管理事業については、引き続き制度の周知を行い、農地の貸出申込みがあった場合に、調整を行います。

利子補給補助ですが、農業近代化資金利子補給補助金については今年度の補助対象者に対して引き続き補助を行う予定です。

農業人材力強化総合支援事業補助金、農業次世代人材投資資金(経営開始型)ですが、今のところ対象者はありません。

なお、利子補給補助と農業次世代人材投資資金については、新規の希望者が  
出た場合に、JAや県の農業改良普及課と連携して随時相談に応じることとし  
ます。

新規就農講演会については、学生や定年後世代など就農へ関心のある一般市  
民を対象に、新規就農や6次産業化の制度などを学ぶことができるセミナーを  
開催する予定です。

鳥獣等関係対策事業につきましては、平成29年度に設置された「鳥獣被害  
防止対策協議会」を中心に、策定された「鳥獣被害防止計画」に基づいて事務  
を進めていく予定です。イノシシの対策についてもこちらで含まれます。

また、スズメバチ等駆除補助金とジャンボタニシ駆除委託、ヌートリア・ア  
ライグマ捕獲用檻の貸し出し等については、引き続き実施する予定です。

7ページをご覧ください。

農業団体等支援事業ですが、小牧市農業祭「いきいきこまき」として平成  
31年11月16日、17日に市民会館駐車場を会場に開催する予定です。

農業農村多面的機能支払事業については、5年間の事業期間であるため、引  
き続き事業を行っていく予定です。

(仮称)農業公園整備事業については、基本計画、基本設計等の業務を実施  
していく予定です。

食育推進事業については、第3次食育推進計画に基づいて、野菜の摂取量の  
増加、食品アレルギー対策、食品ロス削減の取組など、食育の推進に取り組む  
予定です。

農業体験事業については、通年コースの農業体験講座を30回の講座で、J  
A尾張中央東部営農生活センター実施予定です。

遊休農地活用事業については、池之内市民菜園で46区画の継続を予定して  
います。

市民菜園事業については、藤島市民菜園で163区画の継続を予定していま  
す。

(2)平成31年度事業計画(案)については以上です。ご審議いただきます  
ようお願いします。

#### 【会 長】

ありがとうございます。ただいまの事務局の説明に対してご質問等はいりま  
すか。

【委員】

なし

【会長】

ご質問等もないようですので、議題(2)については承認ということでご異議ございませんか。

【委員】

異議なし。

【会長】

ありがとうございます。議題(2)については承認されました。  
その他について、事務局の方から何かありますか。

【事務局】

特にありません。

【会長】

全体を通して何かご意見ご質問がありましたら、お願いします。

【委員】

なし

【会長】

それでは、特に無いようですので、進行を事務局にお返しします。

【司会】

これもちまして小牧市農政推進協議会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。